

令和4年度

個性ある区づくり推進費

予算案

緑 区



令和4年度 緑区予算編成の考え方

緑区では、「次世代につなぐ みんなにやさしいまち『ふるさとみどり』」を基本目標として、豊かな自然に恵まれた魅力あふれるこのまちを「次世代」に引き継いでいけるよう、区民の皆さまと共に様々な施策に取り組んでいます。

本市の喫緊の課題である新型コロナウイルス感染拡大防止と収束に向けた取組についても、スピード感をもって進めるとともに、デジタル化やデータ活用などを更に推進し、区民の皆さまに一層信頼される区政運営を実現していきます。

令和4年度の緑区予算編成では、次の3つの柱に沿って、区民の皆さまの声に寄り添いながら、地域の課題解決に向けた取組を着実に進めていきます。

1 安全・安心なまち

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策の更なる強化や第3回ワクチン接種の取組を進めるとともに、新しい生活様式での様々な地域活動を支援します。
- (2) 自助・共助による防災・減災、防火・防犯等、地域の特性に応じた区民の皆さまの主体的な取組を支援するなど、災害に強いまちづくりを進めます。
- (3) 区民生活に身近な道路の交通安全や食の安全、災害時のペット対策の啓発など、暮らしの安全対策に引き続き取り組みます。

2 いきいき暮らせるまち

- (1) 子どもたちや子育て中の方、高齢者、障害者、外国人の方々や生活にお困りの方など、誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合うつながりのあるまちづくりを進めます。
- (2) 健康づくりや健康寿命の延伸に向けた取組を推進します。
- (3) 地域別の統計データを更新・活用し、地域の福祉保健を推進します。
- (4) 会議や研修、地域との情報共有等でのWebの活用、ペーパーレス化の推進など、デジタル化による市民サービスの向上と業務効率化を進めます。

3 みどりの魅力あふれるまち

- (1) 緑区独自の魅力である緑あふれる自然、都市農業、歴史的資源などを広く発信するとともに、緑区に住んでみたい、住み続けたいと思えるような効果的な広報を行います。
- (2) 商店街振興や芸術・文化・スポーツ活動の促進など、経済の活性化や地域活力の向上を図ります。
- (3) 魅力ある公園づくり、花植えや植樹、清掃活動など地域の良好な環境づくりを進めます。
- (4) 再生可能エネルギーの活用や庁舎内の緑化の推進等により、脱炭素化に向けた取組を推進します。
- (5) 地域の自主的な活動やその担い手の育成、ICTを活用した地域活動の取組を支援します。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業一覧

[単位:千円]

No.	事業名	新規重点	R04予算	R03予算	増△減	所管課	ページ
① 安全・安心なまち			17,757	17,407	350		
1	災害に強いまちづくり事業	重点・拡充	7,997	7,867	130	総務課、福祉保健課	5
2	安全・安心まちづくり推進事業		1,820	1,820	0	地域振興課	6
3	交通安全対策事業		3,774	3,554	220	地域振興課	6
4	交通安全施設等整備事業		2,500	2,500	0	土木事務所	7
5	暮らしの衛生推進事業		1,666	1,666	0	生活衛生課	8
② いきいき暮らせるまち			21,742	21,734	8		
6	健康たうん・みどり推進事業		3,458	2,586	872	福祉保健課	9
7	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業		4,295	5,877	△ 1,582	福祉保健課	9
8	あんしん子育てネットワーク事業	重点	8,100	7,998	102	こども家庭支援課	10
9	保育所すこやか子育て支援事業		2,170	2,367	△ 197	こども家庭支援課	11
10	DV対策・児童虐待防止事業		645	645	0	こども家庭支援課	12
11	青少年地域サポート事業		1,151	1,373	△ 222	地域振興課	12
12	高齢者生きがい推進事業		463	463	0	高齢・障害支援課	13
13	障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業		460	425	35	高齢・障害支援課	13
14	地域特性データ集作成事業	新規・重点	1,000	0	1,000	高齢・障害支援課、福祉保健課	13
③ みどりの魅力あふれるまち			58,084	58,477	△ 393		
15	花と緑あふれるふるさと緑区事業	重点	5,000	5,000	0	土木事務所	14
16	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業		3,000	4,600	△ 1,600	土木事務所	14
17	魅力ある公園づくり事業	新規	1,000	0	1,000	土木事務所	14
18	とれたてみどり地産地消推進事業 (令和3年度:みどり!まるごと応援事業)		2,867	5,148	△ 2,281	区政推進課	15
19	みどり地域まちづくり推進事業		2,695	2,348	347	区政推進課	15
20	子どものまちづくりイベントMini Mini Midori		3,500	3,500	0	区政推進課	16
21	ふるさとみどり魅力発信事業	新規・重点	7,512		7,512	区政推進課	16
22	みどり環境行動啓発事業		1,000	900	100	区政推進課	17
23	読書活動推進事業		500	500	0	地域振興課	17
24	緑・芸術文化事業		2,160	2,361	△ 201	地域振興課	17
25	3R推進事業		2,258	2,258	0	地域振興課	18
26	きれいなまちづくり事業		2,498	2,498	0	地域振興課	18
27	緑区商店街振興事業		2,706	3,169	△ 463	地域振興課	19
28	区民まつり事業		5,600	5,600	0	地域振興課	19
29	地域振興事業		2,189	2,189	0	地域振興課	20
30	市民活動パワーアップ支援事業		3,462	3,462	0	地域振興課	20
31	みどりスポーツ振興事業		1,854	1,720	134	地域振興課	21
32	広報・広聴事業		2,643	2,763	△ 120	区政推進課	21
33	区民から親しまれる区役所づくり事業	拡充	5,640	5,461	179	総務課	22
	アートによる緑区の魅力発信事業 (ふるさとみどり魅力発信事業に統合)		0	5,000	△ 5,000	区政推進課	
合計			97,583	97,618	△ 35		

令和4年度 個性ある区づくり推進費 予算（案）総括表

[単位：千円]

区 分	R04予算	R03予算	増△減
1 自主企画事業 (33事業)	97,583	97,618	△ 35
(1) 安全・安心なまち (5事業)	17,757	17,407	350
(2) いきいき暮らせるまち (9事業)	21,742	21,734	8
(3) みどりの魅力あふれるまち (19事業)	58,084	58,477	△ 393
【重点事業】 5事業 予算額 29,609千円 ◆災害に強いまちづくり事業 7,997千円 * (1) で計上 ◆あんしん子育てネットワーク事業 8,100千円 * (2) で計上 ◆地域特性データ集作成事業 1,000千円 * (2) で計上 ◆花と緑あふれるふるさと緑区事業 5,000千円 * (3) で計上 ◆ふるさとみどり魅力発信事業 7,512千円 * (3) で計上			
2 統合事務事業費	44,622	44,487	135
(1) 統合事務費	24,764	24,743	21
(2) 統合事業費	19,858	19,744	114
3 区庁舎・区民利用施設管理費	595,854	597,806	△ 1,952
(1) 区庁舎等	102,537	105,040	△ 2,503
(2) 地区センター等	424,710	423,043	1,667
(3) 公会堂	41,078	41,625	△ 547
(4) 国際交流ラウンジ	14,400	14,400	0
(5) 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,010	7,579	△ 569
(6) その他（広場・遊び場等）	6,119	6,119	0
合 計	738,059	739,911	△ 1,852

① 安全・安心なまち 17,757千円

1 災害に強いまちづくり事業【重点・拡充】 7,997千円

避難場所における感染症対策を充実させます。防災ネットワークや関係機関との連携強化、啓発・研修等を通じて、災害に強いまちづくりを区民と協働して推進します。

(1) 区本部機能強化事業

- ア 区の災害警戒体制早期確立のため、災害時初動対応グループ研修を実施（4月）
- イ 災害時のコロナ対策を踏まえつつ、円滑に行動できるよう、区職員を対象に防災研究会と区本部訓練を実施（9月、1月）
- ウ 区職員に対する普通救命講習を実施し、緊急時における応急救護体制を確保（9月）
- エ 発災時、長時間の災害対策本部体制を確保するための資機材を購入し計画的な備蓄を実施（10月）
- オ 避難指示等に速やかに対応できるよう、指定緊急避難場所への持ち出し品等の物品を拡充（6月、9月）

(2) 地域防災拠点等強化事業

- ア 高齢者等要援護者の拠点用備蓄品の購入
- イ 地域防災拠点の備蓄品の在庫点検、資機材の保守点検及び修繕（全拠点7月、12月）
- ウ 地域防災拠点運営委員を対象とした資機材取扱講習
- エ 地域防災拠点運営委員会情報共有会の実施（2月）
- オ 新任運営委員を対象に感染症禍を想定した避難所開設運営研修の実施（6月）
- カ 拠点の訓練などをコーディネートする参与に対し、研修を実施（5月）
- キ 女性視点を盛り込んだ避難所づくりに必要な備蓄品の購入【新規】

(3) 緑区防災ネットワーク事業

- ア 防災講演会の実施（3月 緑公会堂）
- イ 防災ネットワーク運営委員会（4月）
- ウ 防災ライセンスネットワーク連絡会（資機材取扱研修）の開催（5月）
- エ 防災ライセンスネットワーク会員への救命講習（上級）の実施（11月）
- オ 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施（2月）

(4) 減災行動啓発事業

- ア ハザードマップ等を活用した小学生を対象とする減災マップ作りワークショップの開催
- イ 感染症禍でも現場の臨場感を体験できるように、小学校の新学習指導要領の改訂に合わせた、区役所の災害対策をまとめたDVDを配布
- ウ 小学校低学年を対象に、防災・減災へ興味を持つ入口として、出前防災講話を実施
- エ 自治会・事業者などを対象にマイタイムラインやARアプリ等を活用した減災行動の啓発や、感染症禍での在宅避難・避難場所以外への避難啓発の実施
- オ 地域が抱える防災に関する課題の解決を支援するため、地域防災拠点運営委員会や自治会等に専門家を派遣【新規】



減災マップ作り

(5) 各種マップの増刷

- ハザードマップ等各種マップの増刷

(6) 災害医療活動対策事業

- ア 災害時医療の訓練等の実施

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

イ 保健活動グループの訓練の実施

(7) 霧の里防犯防災活動センター運営

(8) 外国人（要援護者）に向けた減災啓発事業【新規】

年々増加する外国人居住者に向けた防災啓発リーフレット等を東洋英和女学院及びみどり国際交流ラウンジと連携して作成

(9) 妊産婦（要援護者）に向けた減災啓発支援事業【新規】

ア 妊婦や子どもを持つ家庭に向けた災害に備えての準備などをまとめたリーフレットを作成し、母親教室等で配布

イ 災害時用の離乳食を備蓄し、啓発用としても活用

(10) 新型コロナウイルス感染症対策事業

地域防災拠点の新型コロナウイルス感染症対策として、間仕切りテント等を購入

2 安全・安心まちづくり推進事業

1,820千円

安全・安心なまちづくり活動を推進するため、自治会、緑警察署等と連携し、緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営をはじめ、地域での自主的な防犯活動促進のための情報提供・活動支援を行います。

(1) 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営

ア 総会の開催（5月）

イ 活動内容

（ア）防犯パトロール物品等の提供

（イ）啓発活動

a 特殊詐欺防止等キャンペーン

（駅頭キャンペーン、イベントでの防犯キャンペーン、啓発チラシ作成・配布等）

b 区民まつり出展（防犯パネル展示、防犯啓発グッズ配布）

（ウ）防犯リーダー養成講座の開催（各連合自治会の防犯関係者対象）

(2) 振り込め詐欺被害防止事業

防犯協会の防犯ポスターコンクールの入賞作品のうち、特殊詐欺に関する作品について、バスラッピングによる啓発（12月）【新規】

(3) 情報提供・啓発の充実

ア 緑区防犯情報メールの配信

緑警察署から提供される犯罪情報等を横浜市MLシステムで配信

イ 緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点事業の登録事業者への情報提供・啓発

ウ 広報よこはまへの啓発記事（振り込め詐欺防止）掲載

エ 子どもの安全を脅かす事件の発生時の連絡体制の充実

情報を必要としている施設（特に未就学の子どもたちを預かる施設や小学生に放課後の居場所を提供する施設）に対し、迅速に情報を発信

3 交通安全対策事業

3,774千円

緑警察署及び緑交通安全協会などの関係団体と共に構成している「緑区交通安全対策協議会」として、区内の交通事故減少に向け、交通安全に関する総合的かつ効果的な対策を推進します。特に、高齢者の交通安全や自転車の交通ルール遵守に向けた啓発に重点的に取り組

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

みます。

(1) 緑区交通安全対策協議会の運営

ア 総会の開催及び功労者表彰（4月）

イ 幹事会の開催（4回）

(2) 交通安全運動推進

ア 各季交通安全運動の実施（駅前広報）

（ア）春の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（4月）

（イ）夏の交通事故防止運動（7月）

（ウ）秋の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（9月 交通安全緑区民大会）

（エ）年末の交通事故防止運動（12月）

イ 自転車の交通ルール遵守に向けた啓発

（ア）駅前及び交差点での啓発（5月）

（イ）登校時の高校生への啓発（5月 白山高校、霧が丘高校）

（ウ）自転車駐車場での啓発（6月 区内4駅自転車駐車場）

ウ 交通事故発生状況リーフレットの発行（3月）

(3) 交通安全教育・対策

ア 高齢者交通安全教育・対策

（ア）シルバーリーダー連絡協議会幹事会の開催（4回）

（イ）高齢者向け交通安全教室（緑区交通安全シルバーリーダー研修会）の実施（1月）

イ 児童交通安全教育・対策

（ア）ランドセルカバー贈呈式（4月）

ミドリンをデザインしたランドセルカバーを作成【新規】

（イ）はまっ子交通あんぜん教室（児童交通安全教育）の実施

（6～7月 区内4小学校）

ウ スクールゾーン対策

（ア）スクールゾーン対策協議会全体研修会の実施（4月）

（イ）スクールゾーン対策協議会への助成

（ウ）電柱巻標識、路面標示の新設・補修

（エ）横断旗等の配布（1月）

(4) 放置自転車対策

ア 自転車等放置防止対策協議会の開催（7月 区内4駅）

イ クリーンキャンペーンの実施（10月 区内4駅）



ミドリランドセルカバー

4 交通安全施設等整備事業

2,500千円

「安全・安心なまち」の実現のため、生活道路やスクールゾーンを中心とした、市民生活に密接した箇所における歩行者の交通安全対策を推進します。

(1) 交通安全施設等整備事業

ア 日常の陳情やスクールゾーン対策協議会等による交通安全対策に関する要望の集約（4～7月）

イ 交通安全対策実施予定箇所の選定（7～8月）

ウ 交通安全対策

区画線の新設・補修、あんしんカラーベルトの補修等の実施（9月～3月）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

5 暮らしの衛生推進事業

1,666 千円

区民が安全・安心で快適な生活が送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方について周知・啓発を図ります。

また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施します。

(1) 食品衛生普及啓発事業

ア 飲食店の営業者及び調理従事者並びに区民に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の洗浄度チェック」などの実施

(ア) 子ども向けイベント等における、子どもを対象とした食品衛生知識の普及啓発の実施
(8月)

(イ) コロナ後を見据えた、地域での行事等における食品の取扱い等についての啓発の実施
(7月)

イ 緑区食品衛生協会等と協働で、区民を対象にした食品衛生知識の普及啓発の実施
食中毒予防キャンペーン(8月)

ウ 高齢者施設や保育所等に対して正しい手洗いやおう吐物の処理方法等ノロウイルス食中毒予防講習の実施(10月)

エ 衛生管理が優れた区内飲食店施設等(秀級施設)の紹介、ステッカーの配付(1月)、HACCP(ハサップ)の導入支援、改正食品衛生法の内容周知

(2) 人と動物との共生事業

ア 犬の放し飼いの防止やフンの持ち帰りのマナーアップ啓発

(ア) 飼い主に向けた犬のしつけ方教室の実施(11月)

(イ) 窓口でのチラシ等配布

イ 動物愛護普及啓発

区役所イベントスペースでのパネル等展示(8月)

(3) 安心・快適な暮らし推進事業

ア 暮らしの中の虫相談

スズメバチをはじめとした危険な昆虫等の注意喚起講座の開催(7月)

虫の日(6月4日)にあわせ、衛生害虫啓発のパネル等展示(6月)

イ アシナガバチ等駆除器材の貸出

(4) 災害時に備えた衛生啓発事業

ア 災害時のペット対策啓発

(ア) 災害に備えた心構えを記載した「ペット防災手帳」の配布

(イ) ペット同行避難に関する市民啓発講演会の開催(6月)

(ウ) 地域防災拠点でのペット同行避難訓練の実施、ペット用非常持出品等の展示・紹介、緑区獣医師会との協働による発災時対応の啓発及び飼い主グループの把握と情報提供

(エ) 災害時に使用できるよう、希望する地域防災拠点にスターターキットを配備

【新規】

イ 地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等の啓発

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

② いきいき暮らせるまち 21,742千円

6 健康たうん・みどり推進事業

3,458千円

区民が、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防及び健全な食生活の実践に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、地域の団体や保健活動推進員、食生活等改善推進員等の関係機関と協働で啓発に取り組みます。さらに、区民が健康づくりに取り組みやすい環境を目指し、地域支援などの仕組みづくりを行います。

(1) 健康づくり月間事業

健康づくり月間イベントとして、区民まつりにおける健康チェック、健康相談、野菜摂取促進等の事業を健康に関連する団体と協働して実施（10月）

(2) 思いやり、健康づくりの日事業

健康チェック（歯科相談、栄養相談、健診の啓発を含む）、推定野菜摂取量測定の実施（9回 6月は食育月間キャンペーンと同時開催）
食生活等改善推進員と連携したウォーキングの実施（7回）

(3) 健康たうん・みどり事業

地域における自主的な健康づくり研修会の実施を支援

(4) みどり食育実践推進事業

ア 食育月間・食育の日キャンペーン

(ア) 食育月間キャンペーン

食育月間（6月）に合わせ、体験型食事診断、野菜をもっと食べようキャンペーン、歯科相談、健康チェック、地場野菜の販売等の啓発を実施（6月 思いやり健康づくりの日と同時開催）

(イ) 食育の日キャンペーン

食育の日（毎月19日）に合わせ、体験型食事診断、歯科相談等による食育啓発を実施（3回）

イ 食事診断システムを活用した体験型食育講座

フードモデルを用いた食事診断システムを活用した体験型食育講座を実施

ウ 緑をたっぷり召し上がれキャンペーン

食生活等改善推進員と協働で野菜摂取量促進キャンペーンを実施（4回）

エ 平常時から考える食の備蓄

災害時に備えた食の備蓄の重要性を啓発リーフレット等で周知

(5) 若年層の生活習慣病予防講座

生活習慣改善の意識を持ちにくい子育て世代等の若年層を対象に、子育て支援拠点等の対象者が集う地域の場で、生活習慣病予防の動機づけを図る講座を実施（5回）

(6) 体験型がん啓発事業

がんの触診モデル等の使用・展示による幅広い対象に向けた体験型がん検診啓発を実施

7 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業

4,295千円

身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、令和3年度に策定を完了した第4期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進します。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

また、ひとり暮らし高齢者等に対して見守りや訪問を行っている民生委員・児童委員の活動を支援します。

(1) 地域福祉保健計画推進事業

「みどりのわ・ささえ愛プラン」については、推進策定委員会の意見等を踏まえて、各地区共通の課題や区域の課題に対する取組を進めます。また、各地区の計画については、地区別計画推進策定委員会等において推進に係る検討が進められるよう支援します。

ア みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会の開催（6月、3月）

イ 地区別計画推進策定委員会の開催（11地区）

各地区2回以上開催（6～7月、10～12月）

ウ 地区別計画代表者連絡会の開催（5月、10月 2回）

エ 第4期計画推進に係る報告書の発行及び講演会の開催

オ 地区別計画の推進のための支援

(2) 民生委員見守り訪問事業

民生委員は高齢者に対し電話での安否確認を年間約800回、定期的な訪問を約14,000回実施していますが、別途、健康福祉局所管の「ひとり暮らし高齢者等『地域で見守り』推進事業」への協力として、民生委員、地域包括支援センター、区役所高齢・障害支援課のいずれともつながりのない高齢者を中心に、訪問等による状況確認を実施します。その際、事前に生活状況等を確認することで民生委員の負担を軽減します。

また、活動をサポートするため担当エリアを明確にした「活動マップ」を宅地開発等に合わせ更新します。

8 あんしん子育てネットワーク事業【重点】

8,100千円

子どもたちの健やかな育ちを支えるため、当事者への講座、地域の子育て支援活動との連携、各種情報提供により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。

(1) 当事者への支援

ア プレパパ・プレママ教室

土曜に教室を実施し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに育児の知識を提供します。

（緑区役所 年12回）

イ 赤ちゃん教室

0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催します。

（14か所の会場で各9回 計126回実施）

ウ 歯つらつ1歳児

1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室を実施します。

（1日コース9回、2日コース3回実施）

エ ママのハートバランス事業

養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施します。（個別相談 15回、スーパーバイズカンファレンス 年1回）

(2) 子育て支援

ア 繁忙期の窓口対応等での見守り保育

保育所、児童扶養手当等の繁忙期の個別相談や、乳幼児健診などでのきょうだい児の

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

見守り保育を実施します。

イ 地域での子育て支援活動育成事業

子育てサークルや子育てサロンの活動に助成します。(3団体)

ウ みどり子育て支援連絡会

地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を行います。

エ 緑区子育て支援者事業

地域の協力を得て、親子で集い、交流や情報交換ができる場を作ります。

(3) 情報提供

ア 子育て支援情報のホームページ・メールマガジン

区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信します。(メールマガジン毎月1回配信)

イ みどり子育て応援ガイドブック

区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布します。(3月)

ウ 「みどりっ子カレンダー」

子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行し、利用促進を図ります。

エ 保育施設のご案内

保育施設の利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内(5月2,000部、10月3,000部)、よくある質問に答えるリーフレットを発行します。

オ 乳幼児健診情報提供

乳幼児健診時等に放映する、乳幼児健診の内容や子育て情報を伝える映像の内容を更新します。

カ 放課後事業情報提供

放課後児童クラブと放課後キッズクラブの事業や、区内の各クラブを紹介するパンフレットを作成します。

(4) 新型コロナウイルス感染予防対策

安心して各事業の実施が出来るように、消毒液等、新型コロナウイルス感染予防対策用物品を購入します。

9 保育所すこやか子育て支援事業

2,170千円

緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、区内保育施設等とのネットワークの構築を進めます。離乳期のための「離乳食ランチ交流事業」、授乳、おむつ替えや育児相談が気軽にできる「赤ちゃんの駅事業」などを実施します。

また、「あつまれ!みどりっこまつり」を継続することでスタッフ・参加者のネットワークを拡充し、地域の子育て支援を推進します。

(1) ネットワーク事業

ア あつまれ!みどりっこまつり

未就学児とその保護者を対象に、公立園と民間園が協力し、保護者が育児に活かせる内容を提供することで、家庭の子育て力の向上を図ります。

イ 赤ちゃんの駅事業

授乳・調乳・おむつ替えができるスペースを市立保育所等に設置し、地域の親子に開

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

放します。必要に応じて、保護者の育児不安等にも対応することにより、子育ての孤立化を防ぎます。

(2) 市立保育所での育児支援事業

ア 保育アドバイザー（保育士）派遣事業

地域の子育てサークルの活動を支援し、保育士が地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用した遊びの紹介を行います。

イ 絵本の貸出

園庭開放に参加した地域の親子への絵本の貸出しや、お話し会の実施など、親子で本に親しむ機会を増やします。

ウ 施設開放の拡充

十日市場保育園においても、育児支援センター園（長津田保育園・鴨居保育園）と同等の週5日の施設開放（園庭開放・ホール開放）を実施し、子育て支援の充実を図ります。

エ 離乳食ランチ交流

調理員・保育士が離乳食の説明をしながら、親子に実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝えて、食に関する育児不安の解消につなげます。保育園以外の事業・相談窓口との連携を深め、効果的に事業を実施します。

(3) 市立保育所での地域交流事業

グリーンカーテンを作ることで地球温暖化に対する子どもたちの意識を育むとともに、地域の協力を得ながら、伝承遊びや花苗育成を通じて、高齢者と園児・地域の未就学児等との交流を図ります。

10 DV対策・児童虐待防止事業

645 千円

DV被害者への相談の充実を図り自立を支援するため、弁護士による法律相談を行います。また、児童虐待ケースに関わる職員のスキルアップを目的とした研修を実施します。

(1) DV対策事業

DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談の実施（月1回）

(2) 児童虐待防止事業

さまざまな課題を抱える家族への支援を行う職員向けのスキルアップ研修（年2回実施）

11 青少年地域サポート事業

1,151 千円

次代を担う青少年の健全育成推進を目的に、環境づくり等、様々な取組を進めます。また、地域の青少年育成の担い手である市民活動団体等による活動に対して支援を行います。

(1) みどりっこ育成活動支援事業

緑区内の市民活動団体等による青少年育成活動支援

(2) 緑区青少年活動事業

緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会の活動支援

(3) 青少年地域サポート事業運営費

青少年育成に対してより良い社会環境の醸成に向けた啓発活動や地域交流支援

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(4) 区内大学等と連携した青少年向け体験講座事業

区内大学と連携し、主に中学生を対象に科学技術分野の実験教室などを開催します。

12 高齢者生きがい推進事業

463 千円

高齢者がこれまでに培った経験や能力を生かして生涯現役で活躍し、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、老人クラブの活性化及び加入促進を図り、高齢者の社会参加や交流を促進します。

(1) シルバーフェスティバル等の実施

ア シルバーフェスティバル（3月）

イ 囲碁・将棋大会（12月）

(2) 老人クラブ加入促進のための啓発活動等

ア 区民まつりにおける啓発グッズの配布

イ 老人クラブ啓発用封筒の印刷

13 障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業

460 千円

障害者通所施設が行っている自主製品販売を支援することによって、障害者の社会参加や生きがいづくりの場を充実させます。また、障害福祉についての啓発を通して区民の障害への理解を促進します。

(1) 共同販売の推進

ア 区役所での共同販売「みどりハートフルマーケット」の場の設定

イ 販売チラシ作成

(2) 商品の魅力アップ支援

商品（自主製品）及び受注作業の魅力を紹介する冊子「ミドリビト」（R2年度作成）の改訂

(3) 障害理解の促進

ア 障害者週間に合わせた啓発イベント開催（12月）

イ 障害者週間に合わせて区内障害福祉施設等を巡るスタンプラリー実施（12月）

14 地域特性データ集作成事業【新規・重点】

1,000 千円

令和2年国勢調査の数値等を活用し、地域の状況や課題の共通認識を持ち、地域特性（強み・弱み）に応じた事業を展開するためのデータ集を作成します。

(1) 区全体の人口等に基づく基本情報及び個別情報等のデータ集

(2) 地区別のデータ集

(3) 各種データのホームページでの掲載

③ みどりの魅力あふれるまち 58,084千円

15 花と緑あふれるふるさと緑区事業【重点】 5,000千円

花と緑あふれるまちづくりを目指すため、街路樹の補植を実施し、道路の緑化を進めるとともに、公園愛護会やハマロードサポーター、自治会等の区民が交流を図りながら花苗講座を受講することにより花と緑を主体的に育てるサポーターを育成します。



花と緑のサポーター養成講座

- (1) 街路樹の補植
補植の実施（1～2路線）（8月～3月）
- (2) 花と緑のサポーター養成講座
2グループに分けて実施（全8回）

16 生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業 3,000千円

豊かな自然が残る梅田川遊水地等において、市民団体等と連携して在来種の保全及び生物多様性に配慮した施策を展開し、区民の環境保全の意識を高め、再発見した緑区の魅力を内外に発信します。

- (1) インターネットなどを活用した情報発信
市民ボランティアの活動状況をみどりフォトニュースなどに紹介（通年）
- (2) カレンダー等の配布
緑区の生物多様性をテーマにカレンダー等を製作・印刷して小学校に配布（6～12月）
- (3) サインボードの設置
緑区の生物多様性をテーマにサインボードを製作・設置（2箇所）
- (4) リーフレットの配架
緑区の生物多様性をテーマにリーフレットを作成し、区役所や駅など人が集まる場所に配架（6～12月）

17 魅力ある公園づくり事業【新規】 1,000千円

コロナ禍で身近な公園が注目されている一方で、公園愛護会員の高齢化が進み、十分な維持管理が困難な公園も存在します。公園愛護会のモチベーション向上と活性化を図るための事業を実施して適切な維持管理を継続し、親しまれる公園づくりを図ります。

- (1) 公園愛護会 PR 資料作成
 - ア 公園愛護会の紹介記事原稿を作成
（15公園愛護会を対象予定）
 - イ 広報よこはまに掲載する公園愛護会特集記事の原稿を作成
- (2) 公園カレンダー作成
公園花壇に咲く花や愛護会の活動状況を紹介するカレンダーを作成して公園愛護会に配布



公園愛護会の活動の様子

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

18 とれたてみどり地産地消推進事業

2,867千円

緑が豊かで農業の盛んな緑区において、区庁舎での農産物直売所、地産地消講座、地産地消みどりグルメスタンプラリーなどを実施することで、緑区の農の魅力を広く区民に発信するとともに、地産地消の推進を図ります。

(1) 区庁舎直売所事業

緑区庁舎内における直売所での地元農産物の販売を通して、「農」の魅力をもつてPRするとともに、「農」に対する理解を深めます。(毎週火・金曜日)

また、JA横浜と共催で実施している地場野菜の直売会を通して、生産者と消費者のコミュニケーションの機会を作ります。(6回 緑区役所)

(2) よこはま地産地消サポート店を通じた地産地消促進事業

「農」に関する飲食店への情報発信や区民、農家、飲食店との交流会、よこはま地産地消サポート店を巡るスタンプラリー等の実施により、飲食店における地産地消を促進します。また、令和元年度に行った飲食店調査結果を活用し、よこはま地産地消サポート店の登録促進を行います。

(3) 地産地消情報発信事業

多くの区民に地産地消や野菜に関心を持っていただけるよう、広報よこはまみどり区版で地産地消コラムの連載、緑区ウェブサイトやフェイスブック等での情報発信を行います。また、「地産地消みどりグルメガイドマップ」「とれたてみどり緑区直売所マップ」「みどりとれたてレシピ集」を改訂します。

(4) 地産地消講座事業

畑での収穫体験等を実施することで、「地産地消」の取組を身近に感じてもらいます。(2回)

19 みどり地域まちづくり推進事業

2,695千円

平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民主体のまちづくり支援を実施します。

(1) 住民主体のまちづくり支援

山下地区、東本郷地区、十日市場地区等、住民主体により行われている地域のまちづくりについて、地域ごとの課題や取組みに応じた支援を行います。また、新たな地区での支援についても、専門家派遣等により対応します。

(2) 山下地域交流センター活用事業

地域に愛される市民利用施設となるよう、地域と一緒に耐震補強等工事後を見据えた施設活用や運営方法等を検討していきます。

(3) 緑区案内・誘導サイン等維持管理事業

区内に設置している案内・誘導サインについて、計画的かつ効率的に改修・更新を行っていきます。

また、バリアフリー基本構想の策定やまちづくりの進捗等に応じて、案内サインの新設・撤去や情報更新を継続的に実施していきます。



山下地域交流センター

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(4) 地域のつながり支援事業

空き地・空き家・空き店舗を活用し、地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を促進します。

地域団体に空き地等が無償で利用してもらおう一方、所有者に対し奨励金を支払います。

20 子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori

3,500 千円

次世代を担う子ども達がまちづくりに携わる楽しさを知るきっかけを作るため、子ども達が自らまちをつくり・運営するイベントを実施します。

また、企画段階から参加し、イベント当日にはまちのリーダーとして活躍する子ども実行委員を公募します。



区長選挙の様子

21 ふるさとみどり魅力発信事業【新規・重点】

7,512 千円

地域への愛着や郷土愛を育むとともに、あらゆる世代がまちづくりに参加し、住みたい、住み続けたいと思える緑区を目指すため、緑区の魅力（自然、農、歴史、街並み等）を区民とともに見つけ、市内外に広く発信していきます。

(1) 緑区プロモーション戦略策定事業

緑区の人口は、港北区や鶴見区等の市中心部からの転入超過による社会増が続いていますが、近隣の町田市や相模原市等への転出も一定数見受けられており、転出入等の実態を把握するための区民アンケート調査を実施します。

また、区民アンケート調査の結果等を踏まえて、今後の人口減少を見据えた「移住促進」及び「定住促進」を区役所全体で効果的に推進するため、「緑区プロモーション戦略」を策定します。

(2) アートによる緑区の魅力発信事業

視覚的・直観的な「アート」という表現手段を活用することで、子どもたちや地域の新たな担い手をはじめとする「次世代」にも、地域の魅力（自然、農、歴史、街並み等）を分かりやすく発信し、アートに触れる機会を創出するとともに、地域の活性化を図るため、昨年度に引き続き「山下学舎文化祭」及び「十日市場まちかどアートフェスティバル」を開催します。



黒板アート

また、新たにアート作品やフォトコンテスト入賞作品等のラッピングバスを2台運行し、区内外の街を行き交う方やドライバーなどに緑区の魅力を広く発信します。

(3) 緑区フォトアーカイブ事業

区内の移り変わりを写真で残し、オープンデータ「緑区フォトアーカイブ」として提供します。また、フォトコンテストを実施し入賞作品をオープンデータとして提供するとともに、カレンダーを作成します。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(4) 緑区遺産事業

区内にある有形の歴史的・自然的・文化的地域資源を「緑区遺産」として登録し、緑区遺産紹介冊子、看板等設置補助により、事業PRを図ります。

22 みどり環境行動啓発事業

1,000 千円

地球温暖化対策等に関する啓発のため、講演会等のイベントを実施します。イベント開催に伴う3密を避けるため、聴講者の人数制限やオンラインを活用します。

また、スーパーマーケットの店頭において、省エネ行動や3R行動、ワンウェイ・プラスチック削減などを啓発します。

23 読書活動推進事業

500 千円

「緑区読書活動推進目標」に基づき、子どもから大人まで多くの人が本とふれあい、読書を楽しめるように、緑区の地域性を生かした取組を進めていきます。

(1) 赤ちゃんからお年寄りまで本に親しむ環境づくり

- ア 青少年向け読書啓発事業
- イ おはなし会ネットワークの支援
- ウ 緑図書館におけるCDブック貸出事業
- エ 区民まつりにおける読書啓発イベント「本の交換会」

(2) ボランティアの育成

中高生図書館ボランティア体験事業

(3) ネットワークを活かした家庭・学校での読書活動の推進

地区センター等における赤ちゃん絵本セット貸出事業

(4) 区の特성에応じた読書活動の推進

読書活動推進連絡会開催、読書まっぷ（第二次読書活動推進目標）配布、まちライブラリー支援事業 等



ボランティアの育成

24 緑・芸術文化事業

2,160 千円

区民が芸術文化を通じて創造性のある心豊かな暮らしができるよう、身近な場で多様な表現活動に触れることのできる機会確保を目指し地域芸術文化団体の活動支援を実施します。

また、表現活動を実践する新たな人材の確保・育成を図ると共に、より裾野を広く区民が文化芸術に興味を持てる機会の提供を行い、緑区内における文化芸術振興を図ります。

(1) 緑・芸術文化活動支援事業

ア 区内芸術文化団体の事業に対する支援


(ア) 緑区民音楽祭実行委員会

安価で質の高い演奏会の開催、若手新人演奏家発掘等

・ 第139回ふれあいコンサート「緑弦楽四重奏団」コンサート（6月）

・ 第140回新人演奏会（9月）

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- (イ) 緑区コーラスの会
 - ・緑区コーラスのつどい（11月）
 - (ウ) GROUP 創造と森の声
 - ・森ラボ 2022（4～5月、9～10月 横浜動物の森公園 植物公園予定地）
 - (エ) 公募事業を対象とした支援（文化芸術イベントが対象）
 - イ 区庁舎1階イベントスペースを活用した区民文化振興
 - (ア) 「お昼のロビーコンサート」開催
（年4回程度、緑区民文化センターと連携開催）
 - (イ) 「サークルミニギャラリー」開催
（年4回程度、区内文化系団体による展示）
- 
- ロビーコンサート（令和元年度）
- (2) 交流と人材育成
 - ア 提案型ロビーイベント（企画公募、年4回程度）
 - イ 芸術文化活動の振興を目的としたイベントの実施
若年層の掘り起こしを目的としたワークショップ等の開催（10月）【新規】
 - ウ 区内芸術文化団体の情報発信（緑区HPで団体紹介ページを作成 通年）

25 3R推進事業

2,258千円

「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、「食品ロス」・「プラスチックごみ」削減の啓発に重点的に取り組み、区民・事業者・行政が協働して3R推進事業を展開します。

- (1) みどり環境行動推進協議会の運営
 - 総会・みどり環境行動推進者表彰式の開催（5月）
- (2) 3Rの普及・啓発
 - ア 小中学校・保育園等への出前講座の開催
 - イ 店頭キャンペーン（4回）
 - ウ 各種イベントや地域のまつり等での啓発
 - エ 広報区版などを活用した啓発
 - オ 緑ECO通信の発行（2回）
 - カ 転入者向け啓発・分別相談（4月、3月）
 - キ 不要品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の運用
 - ク フードドライブの推進

26 きれいなまちづくり事業

2,498千円

緑区からポイ捨てや不法投棄をなくして魅力あふれるまちづくりを目指すため、花いっぱい活動・地域ふれあい活動・駅さわやか活動を展開します。

- (1) 花いっぱい活動事業
 - 季節の花苗を沿道に植栽する団体等を支援（2回）
- (2) 地域ふれあい活動事業
 - ア 地域清掃活動団体への支援
 - イ 不法投棄対応

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) 駅さわやか活動事業

ア 中山駅周辺及び区庁舎周辺の清掃

(ア) 中山駅周辺における地域住民・商店街・事業者による早朝清掃(2回)

(イ) 区職員による区庁舎周辺早朝清掃

イ 駅周辺でのポイ捨て禁止キャンペーンの開催(6回)

中山駅(2回) 周辺早朝清掃と同時実施

長津田駅(1回)、鴨居駅(1回)、十日市場駅(2回)

ウ みどりサンタプロジェクトの実施



みどりサンタプロジェクト

27 緑区商店街振興事業

2,706千円

消費者と商店街の顔の見える関係づくりを支援し、大型店にはない商店街ならではの“魅力”を地域の消費者に再発見してもらうことで、集客力を高め、地元商店街の活性化につなげていきます。

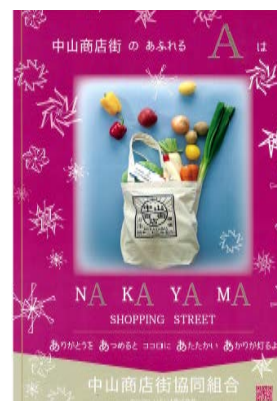
(1) 「商店街 Special Week 事業」

区内7商店街の魅力ある写真とキャッチコピーを使用したポスターを制作し、公共スペースに掲出するとともに、マスメディアと連携してPRし、活性化につなげます。2年間で7商店街を一巡します。(令和4年度は3商店街で実施)

(2) 「商店街ポイントラリー」

各商店街が持つ地域に根差したサービスや商品を消費者に伝えるとともに、消費者が商店街に足を運んで地元商店街の魅力を再認識してもらうことを目的に、区内7商店街が一体となって企画運営して開催します。

商店街と引き続き連携しながら、賞品構成、参加店舗数などを一層充実させて実施します。



商店街PRポスター

28 区民まつり事業【拡充】

5,600千円

区民同士の交流を深め、区民のふるさと意識を醸成するとともに、世代間を超えた連帯と区全体の活性化を図ることを目的として、区内各種団体の代表者で構成されている「緑区民まつり実行委員会」が主体となり、様々な世代の参加する「緑区民まつり」を県立四季の森公園で実施します。

開催に向けて、実行委員会へ補助金を交付するとともに、会場内での新型コロナウイルス感染症対策の実施や緑区民まつりPRのためのポスター、リーフレットを作成します。



令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

29 地域振興事業

2,189千円

地域の主体的な活動を支援するため、地域要望の把握や地域への情報提供など、双方向のコミュニケーションを大切に、地域との良好な関係を構築します。

また、自治会活動を通じて地域の振興に貢献している自治会長の労をたたえ、感謝会を開催し、永年在職の自治会長を表彰します。

(1) 緑区自治会町内会長感謝会の開催

自治会長感謝会を開催し、自治会長5年在職者を区長から表彰します。なお、10年以上の自治会長については5年毎に、横浜市自治会町内会長永年在職者表彰式で市長から表彰します。(3月)

(2) 回覧物等配送業務

自治会に対して、市・区から回覧等を依頼することによる負担を軽減するため、月ごとに取りまとめて送付します。

(3) 自治会加入促進の支援

自治会加入に向け、転入者へのご案内のほか、個別の自治会の求めに応じて自治会と連携した取組を進めていきます。



自治会加入促進リーフレット

30 市民活動パワーアップ支援事業

3,462千円

緑区市民活動支援センター「みどりーむ」を拠点に、緑区市民活動支援センター運営委員会と協力し区民主体による魅力ある地域づくりや自律的な市民社会の形成を目指した事業を実施します。

また、緑区における公益的な活動や地域課題解決への取組を支援するため、地域の公益的活動に対して補助金を交付します。

(1) 講座・セミナー開催事業

防災・減災講座など

(2) 市民交流事業

- ア みどり市民活動交流会
- イ サロンふらっと
- ウ ちょっと先生の講座
- エ みどりーむまつり
- オ Open!みどりーむ

(3) 生涯学級事業

「横浜線ものがたり」「自然を楽しむ講座」など

(4) 緑区内地域施設間連携

緑区地域施設間連携会議及び研修会の開催

(5) 緑区市民活動支援センターのコーディネート機能の強化

ICT活用支援体制の充実を図るため、オンライン会議・イベントを開催する仕組みを学ぶ講座を実施

(6) 緑区地域課題チャレンジ提案事業

公益的活動に対する補助金の交付(15団体程度の予定)、うち脱炭素化に寄与する活動に対する補助金の交付(5団体を予定)



Open!みどりーむ(オンライン開催)

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(7) ばそこんひろば@みどり事業

- ア パソコン・スマホ相談コーナー「めだかの学校」の開催
(緑区市民活動支援センター 毎週火・木・土曜日)
- イ パソコン・スマホ初心者対象の講習会「めだか塾」の開催
(緑区市民活動支援センター 毎月1回)
- ウ パソコン・スマホの機能を学ぶ講習会「IT講習会」の開催
(年12回 各地区センター)

31 みどりスポーツ振興事業

1,854 千円

区民が主体となって運営するスポーツ振興団体やスポーツ振興イベントの支援を行い、また、気軽にスポーツ文化に楽しむことができるイベント等を区としても実施し、区民がより健康で多様な豊かな暮らしができる環境づくりを進めます。

(1) 緑区スポーツ協会事業

加盟する各団体等(15団体、3関連団体)の各種大会やスポーツ振興活動に対する支援

(2) みどりスポーツフェスティバル

緑区スポーツ推進委員連絡協議会、緑区さわやかスポーツ普及委員会、緑区スポーツ協会の3者による、誰もが気軽に様々なスポーツを楽しむことができる総合スポーツ体験型イベントを支援(6月 緑スポーツセンター)



みどりスポーツフェスティバル
(令和元年度)

(3) みどりスポーツ振興事業

- ア 緑区ランニングフェスタの開催(12月)
- イ 横浜DeNAベイスターズによるキッズベースボールフェスティバル(11月)
- ウ その他プロスポーツチーム連携事業、スポーツ体験会や講演会等(秋季)

32 広報・広聴事業

2,643 千円

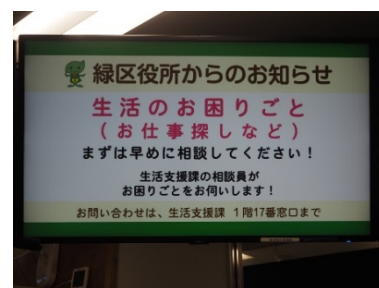
(1) みどり区区民生活・防災マップ事業

区内の公共施設や医療機関、防災拠点、地震・風水害情報等を掲載したマップを転入者等に配布します。

(2) 広報発信力アップ事業

迅速に情報が提供できるウェブサイトの長所を活かし、緑区ウェブサイト・緑区ツイッター・民間広報媒体と協力した情報発信を行います。併せて区庁舎2階の情報モニターを活用し、来庁者への広報も充実させます。

また、区内6駅のPRボックスに、広報よこはま区版の特集ページの掲出と追加補充、区の事業に関するチラシの配架を行います。(毎月1日・10日)



情報モニター

(3) 緑区役所意見箱運営事業

緑区役所庁舎内に意見箱を設置して、来庁者から区役所運営等に関わる意見・要望・提案をいただき、区民満足度の向上や区政の合理的な運営を図ります。

令和4年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(4) 緑区「ふれ愛トーク」の開催

緑区内で地域活動を行う団体と区長が活動内容等について意見交換します。実施したふれ愛トークは、その概要を広報よこはま緑区版やウェブサイト等で紹介していきます。

33 区民から親しまれる区役所づくり事業【拡充】

5,640千円

「おもてなしの行政サービス」による区民満足度向上のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組むとともに、人権問題への「気づき」の場として、職員向け人権啓発研修や区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、表彰を行います。

(1) 接遇向上等研修事業

職員に対する研修を実施し、窓口接遇スキルの向上を図ります。(10~11月)

(2) 人権啓発・職員研修事業

偏見や差別を自分自身の問題としてとらえ、人権問題への「気づき」の機会とするため、区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、職員向け人権啓発研修等を実施し、職員の人権意識向上を図ります。

(3) 緑区表彰事業

緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え、表彰を行います。

(4) 緊急的課題への対応

新型コロナウイルス感染症対策など緊急的課題に対応するとともに、区民の方がより利用しやすい区役所となるよう窓口環境等の整備を行います。また、来庁者に快適に過ごしていただけるよう庁舎の美化・緑化を進めます。

(5) 緑区データ集作成事業【新規】

令和4年度は新たに予算を計上し、人口増減や年齢別人口など、区の統計データをまとめたデータ集「教えてみどり」を作成し、データをホームページで公開します。

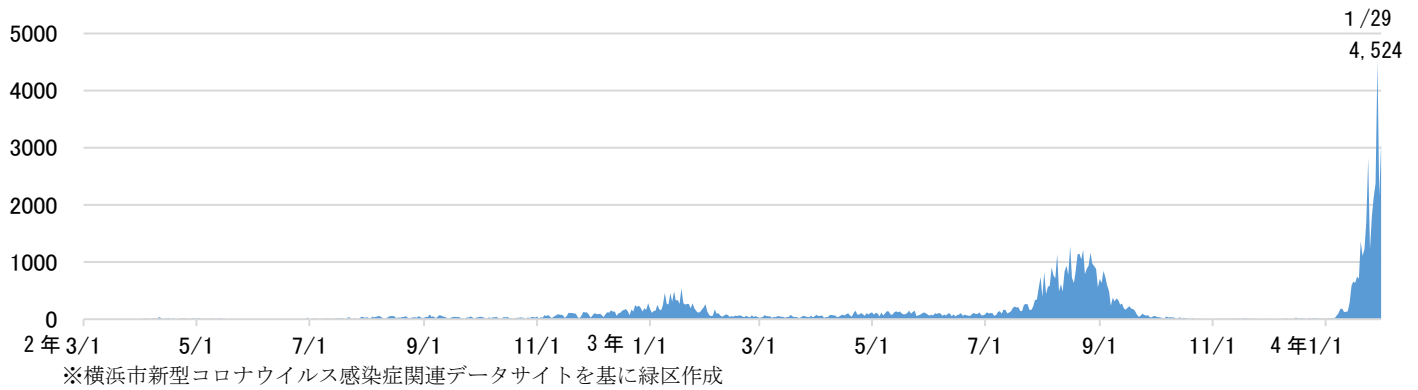
令和4年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応含む
緑	1	都市計画道路の整備促進	1 長津田駅南口線の用地取得及び本格整備 2 山下長津田線(鴨居地区)の用地取得及び整備着手 3 中山北山田線(中山地区)の早期事業化	道路局	○
緑	2	中山駅周辺の一体的なまちづくりの推進	1 再開発事業の早期完成に向けた着実な支援 2 再開発事業やバリアフリー基本構想の進捗にあわせた街づくり協議指針の見直し検討	都市整備局	○
緑	3	県内で唯一現存する戦中期の木造校舎の「地域のシンボル」「初等教育の原点」としての次世代への継承	1 耐震補強工事等の実施に向けた方針の策定 2 財産所管換え及び横浜市公共施設管理基本方針に基づく施設の適切な保全・更新等の推進 3 学校跡地を活用した地域スポーツ広場の実態に即した要綱の新設 4 保存活用計画の策定(策定費)	市民局	○
緑	4	緑区役所東側出入口への屋根(庇)設置	駐車場と区庁舎とにある通路への屋根(庇)設置(工事費)	市民局	○
緑	5	新しい生活様式普及推進事業(パソコン・スマホ操作初級レベル普及の向上を目指して)	地域でICT化を促進している団体向けの補助金制度の創設	デジタル統括本部	○
緑	6	自治会町内会ICT活用モデル事業の実施	1 自治会町内会において恒常的にオンライン環境を利用するための機器の補助 2 整備を行う自治会町内会への接続、トラブル対応等ICTに関するアドバイザーの派遣	市民局	○
				デジタル統括本部	○
緑	7	緑区役所屋上の活用による太陽光発電設備の導入	緑区庁舎及び隣接する公会堂の屋上におけるPPA事業の実現に向けた技術的支援	温暖化対策統括本部	○
緑	8	緑区役所の緑化推進	プランター設置による中低木の植樹	環境創造局	○

緑区における新型コロナウイルス感染症対応状況

1 陽性患者の発生状況等

(1) 横浜市の陽性患者数（累計）（人）99,926人（うち緑区4,353人） 令和4年1月31日時点



(2) 横浜市の入院患者・療養者の状況と死亡者数（令和4年2月1日時点）

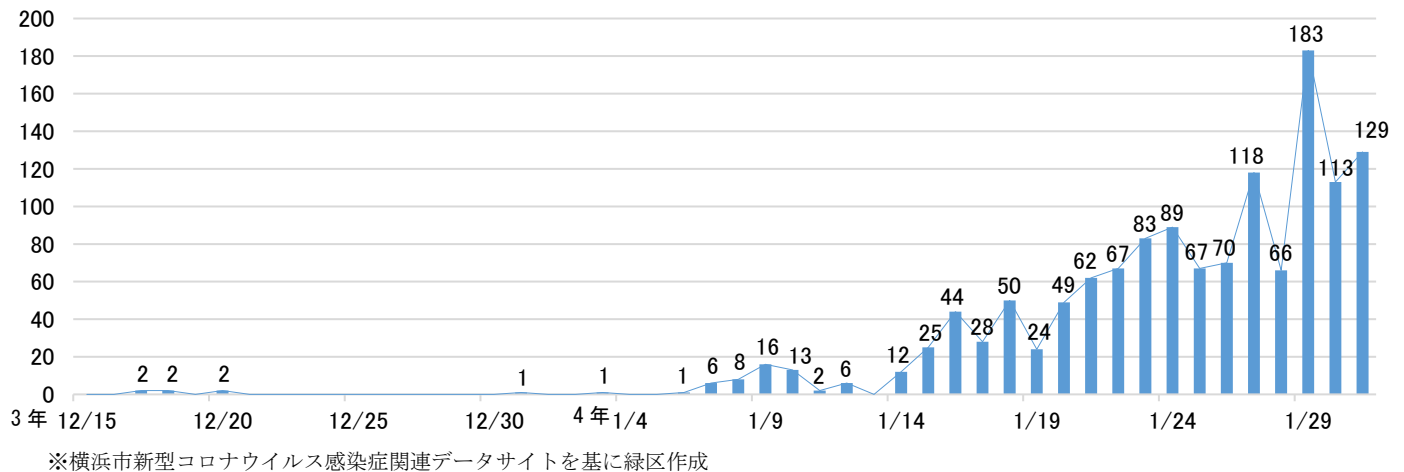
入院者数		療養者数		死亡者数 (累計)
439	重症	22,979	自宅	596
	中等症		宿泊施設	
	21		22,930	
	418		49	

※横浜市新型コロナウイルス感染症関連データサイトより

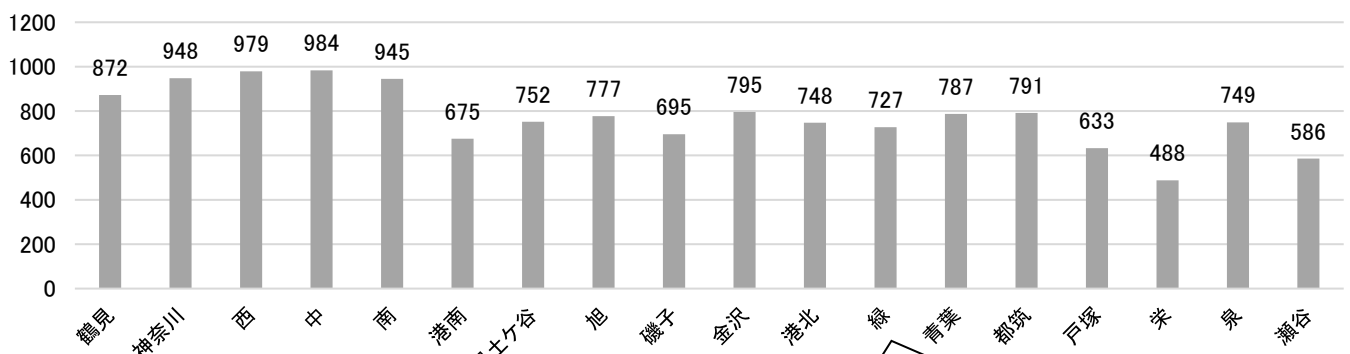
(3) 緑区の状況

ア 新規陽性患者数（人）

令和4年1月31日時点



イ 人口10万人あたりの新規陽性患者数（令和4年1月1日～1月31日分）（人）



※横浜市新型コロナウイルス感染症関連データサイト、
 横浜市人口ニュース（No.1145）を基に緑区作成

18区中13番目

(4) 病院、福祉施設等への注意喚起及び助言・指導等

月	内容
令和3年9月から 令和4年1月まで	・実地調査【16回】(病院：6回、福祉施設等：10回)

(5) 保育所の休園等の状況（1月）

保育所等※1の休園		延べ20園
幼稚園の休園		延べ4園※2
小中学校	休校	1校
	学級閉鎖	延べ24校

※1 認可保育所、小規模保育事業所、認定こども園、横浜保育室

※2 緑区で把握している休園数

2 感染症業務の庁内応援体制

1月中旬以降、陽性者への連絡や、施設調査等の感染症対策業務への庁内応援を再開

感染症業務の庁内応援延べ人数（令和4年1月）

合	計	211人
	総務部	44人
	福祉保健センター	135人
	土木事務所	18人
	局	14人

3 区民向け新型コロナウイルス関連の広報

(1) 広報よこはま（9月以降）

種別	月	掲載内容	
市版	9月	・人が動くとコロナも動く	・ワクチン接種
	10月	・冬が来る前に…確認しておこう！	
	11月	・いまさら聞けない感染症対策の基礎知識！	・コロナ関連情報
	12月	—	
	1月	・新型コロナウイルス感染症に関する補正予算	
区版	9月	・高齢者のフレイル予防（自宅でできる体操）	郵送で可能な手続
	10月	・高齢者のフレイル予防（自宅でできる体操）	
	11月	・病気に負けないカラダをつくろう ・スマホで確定申告ができます（混雑回避） ・感染症を予防しましょう（正しい手洗い）	
	12月	・生活困窮の相談（コロナ禍での生活困窮含む） ・感染症クロスワードパズルにチャレンジ	
	1月	・区長と連合自治会長会会長の対談記事での感染予防呼びかけ ・スマホで確定申告（混雑回避）	

(2) 区ウェブサイトでの広報

(3) 駅及びPRボックスでの広報（広報よこはま市版 特集ページの掲出）

(4) 各地区連合自治会長に毎週、感染症患者の区別発生状況をFAXにて提供

(5) 各地区連合自治会長に、随時、ワクチンに関する記者発表資料等の情報提供

(6) 感染予防・ワクチン3回目接種のポスターを自治会へ掲示依頼

4 広聴受付件数（緑区） 参考値：市民からの提案、ダイレクト広聴、緑区意見箱、陳情等の計

	9月	10月	11月	12月	1月
令和3年 (令和2年)	24 (27)	36 (19)	28 (27)	43 (22)	24 (74)
内コロナ関連※	9	4	2	5	10

※コロナ関連の主な内容：ワクチン接種について、保育園・小中学校での対策について

5 区庁舎における感染拡大防止の取組

- (1) アルコール備蓄用少量危険物保管庫の設置
- (2) 広告付きアルコール消毒液スタンドの設置
- (3) 清掃業者による消毒作業の追加実施
- (4) フロア待合スペース（2階、3階及び検診フロア）に空気清浄機の設置
- (5) 混雑緩和のため最少人数での来庁のお願い（掲示）
- (6) 窓口パーテーション（アクリル板）の設置
- (7) 職員による庁舎の定時換気及び消毒の実施（10時、12時、14時、16時）
- (8) 感染予防に関する来庁者向け庁内放送実施（10時、14時）

6 ワクチン相談コーナーについて

区役所1階にワクチン相談コーナーを設置し、ワクチン予約手続き等に関する相談を受け付けています。また、チラシの配布など情報提供のほか、インターネットでの予約が困難な方を対象に予約代行を行っています。

緑区	9月	10月	11月	12月	1月
相談件数	473	524	310	287	479

※令和4年2月1日より相談員を5名に増員（2名増）

【主な相談内容】

- 9月～10月
- ・予約方法や接種可能な医療機関について
- 11月～12月
- ・接種券の再発行について
 - ・接種証明書について
- 1月
- ・3回目の接種について

7 令和4年度個性ある区づくり推進費予算案（自主企画事業）におけるコロナ関連経費

内容	金額（千円）
事業実施に係る感染症防止対策物品の購入	1,852
事業のオンライン化	1,320
その他（区民まつりでの手洗い場等の設置）	200
計	3,372

(参考)

- ・令和3年度予算：2,797千円（令和3年12月末時点の執行額：8,136千円）
- ・令和2年度執行額：22,016千円（事業見直しによる活用）

8 区内施設等の状況（1月31日時点）

	施設名	利用制限等の内容
1	緑図書館	通常通り開館 (火～金9時30分～19時、土日月祝9時30分～17時)
2	緑公会堂	通常通り開館(9時～22時)
3	地区センター	通常通り開館(平日・土:9時～21時、日・祝日:9時～17時)
4	山下地域交流センター	通常通り開館(火～土:9時～17時、日:9時～13時)
5	霧が丘コミュニティハウス	通常通り開館(平日・土:9時～21時、日・祝日:9時～17時)
6	霧が丘公園こどもログハウス	大規模修繕工事のため、令和4年3月19日まで利用停止中
7	緑区市民活動支援センター みどりーむ	通常通り開館(平日・土:9時～21時、日・祝日:9時～17時)
8	みどりアートパーク	通常通り開館(9時～22時) ※ホールは、令和4年3月まで工事のため利用停止中
9	十日市場スポーツ会館	通常通り開館(平日・土:9時～21時、日・祝日:9時～17時)
10	緑スポーツセンター	通常通り開館(9時～21時)
11	霧が丘地域スポーツ広場	通常通り開館(9時～21時)
12	学校施設活用型 コミュニティハウス	通常通り開館(9時～21時; 火・金を除く)
13	緑ほのぼの荘	通常通り開館(9時～17時)
14	みどり国際交流ラウンジ	通常通り開館 (月木金土日:9時30分～18時、水:9時30分～21時、火:休館)
15	緑区精神障害者生活支援センター	通常通り開館(平日:10時～19時、土:9時～15時)
16	緑区基幹相談支援センター みどり地域活動ホームあおぞら	通常通り開館(平日:9時～17時)
17	地域ケアプラザ	開館時間(平日・土:9時～21時、日・祝:9時～17時) 相談(夜間電話相談含む)については継続
18	福祉保健活動拠点	通常通り開館(平日・土:9時～21時、日・祝:9時～17時)
19	中途障害者地域活動センター 緑工房	通常通り開館(平日:9時～17時)
20	地域子育て支援拠点 いっぽ	通常通り開館(火～土:10時～16時)

※各施設とも、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら運営しています。